

## GerbTool ホットキー

### CAM350 ホットキーを GerbTool で使用

### マウスボタンとファンクションキーへの機能割当て

GerbTool では、操作において頻繁に使用される機能をホットキーとして登録がされています。

このホットキーの使用により、操作の短縮が計れ、作業の効率が向上します。

また CAM 編集ツール、CAM350 や VisualMAster で使用しているホットキーを GerbTool で使用することが可能です。

Cancel	Esc
Edit System Flags...	Ctrl+F
Change Grid...	Ctrl+G
Me Units...	Ctrl+M
Abs Coords...	C
Rel Coords...	Ctrl+C
Next Dcode	D

ホットキーは画面上で右クリックメニューから確認することができます。

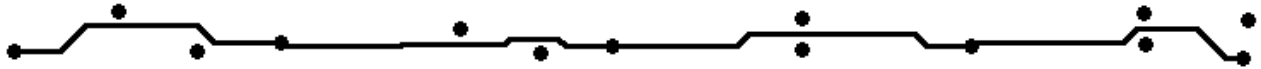
メニュー右横には割当てているホットキーが表示されません。

各キーに「Ctrl」キーをプラスする場合は逆機能の登録が多くされています。

(例) C : 絶対座標入力

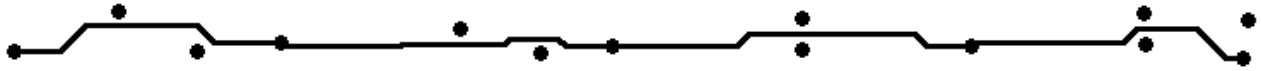
Ctrl + C : 相対座標入力

注意 : ホットキーを使用する際は、キーボードの日本語入力をオフにしてください。



KEY	コマンド
1-9,0	レイヤー1-10 手前に表示
Ctrl + 1-9,0	レイヤー11-20 手前に表示
A	全レイヤーを表示
Ctrl + A	アクティブレイヤーのみ表示
Shift + A	アパチャーセットアップ 画面表示
B	表裏表示切り替え
Shift + B	レイヤーセットセアアップ画面表示
C	絶対座標入力
Ctrl + C	相対座標入力
D	次の D コードを選択
Ctrl + D	前の D コードを選択
Ctrl + F	変数セットメニュー表示(開発者用)
G	グリッド表示/非表示
Ctrl + G	グリッド設定変更
H	ハイライト表示/非表示
I or +	拡大
Ctrl + I	画面をクリップボードにコピー
L	次のレイヤーをアクティブに設定
Ctrl + L	前のレイヤーをアクティブに設定
Shift + L	レイヤーセット画面を表示
M	マクロ実行
Ctrl + M	単位設定画面表示
N	アクティブレイヤーのポジ/ネガ表示切り替え
Ctrl + N	ファイル新規作成
O or -	縮小
Ctrl + O	ファイルを開く
P	画面をマウスの位置に移動
Ctrl + P	オートパンモード オン/オフ切り替え
Ctrl + Alt + Q	プログラム終了
Q	アイテムプロパティ
R	再描画
Ctrl + R	全体表示
S	スナップグリッドオン/オフ切り替え

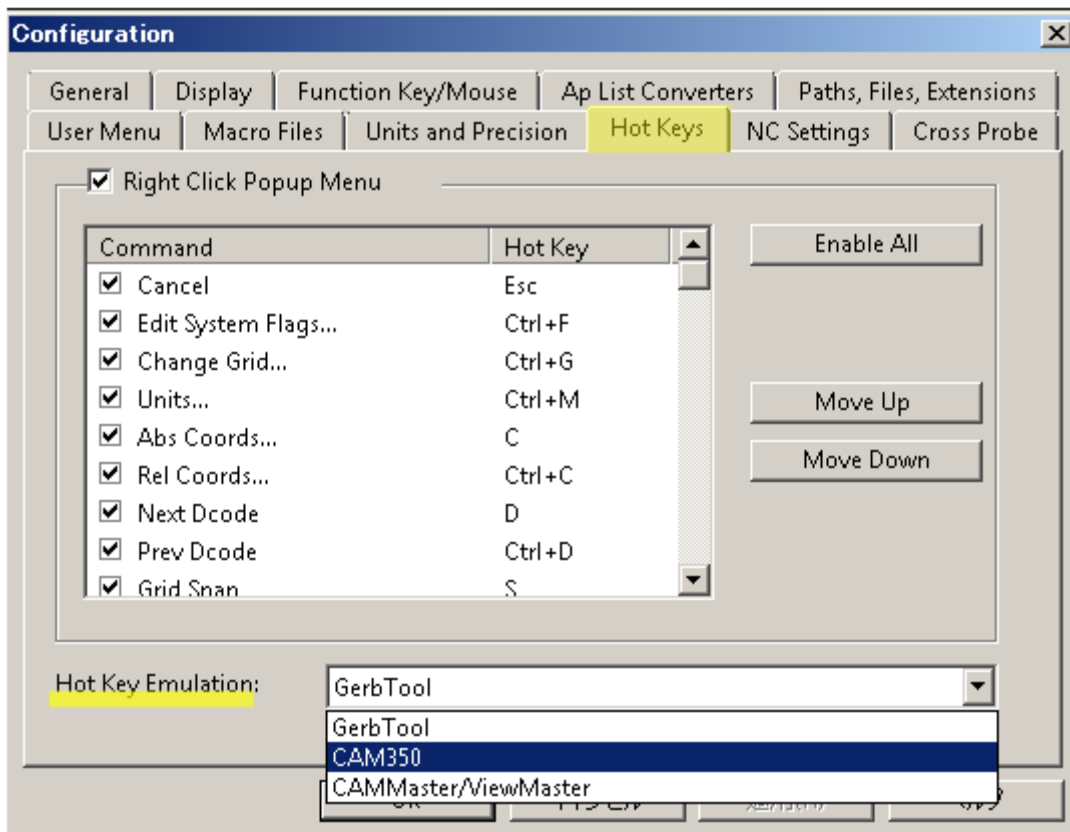
## ホットキー



Ctrl + S	ファイル保存
T	NC ツールパス表示/非表示切り替え
Shift + T	NC ツールセットアップ
U	最後の編集をアンドゥ
Ctrl+U	すべて編集をアンドゥ
Shift+U	リドゥ
V	合成レイヤー表示/非表示
Ctrl+V	バーチャルパネル表示/非表示
X	Allegro/OrCAD とのクロスプローブ オン/オフ切り替え
Y	レイヤーセットアップ
Esc	カレント動作を終了
Enter	カーソル位置座標
Home	アイテムの中心にカーソルをスナップ
Ctrl+Home	アイテムの中心にカーソルをスナップ後 絶対座標を表示
PgUp	カーソルブロックサイズを増加
PgDn	カーソルブロックサイズを減少
←→↑↓	左右上下へスクロール

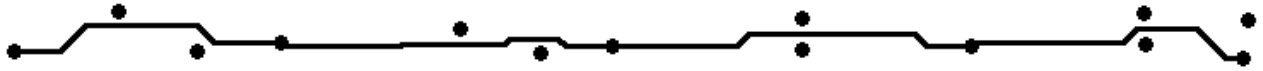
## CAM350 ホットキーの使用

CAM350 ホットキーをエミュレートするには、メニューから Options /Configure を選択  
Hot keys のタブをクリックします。



Hot Key Emulation から CAM350 を選択し、OK をクリックします。設定完了です。

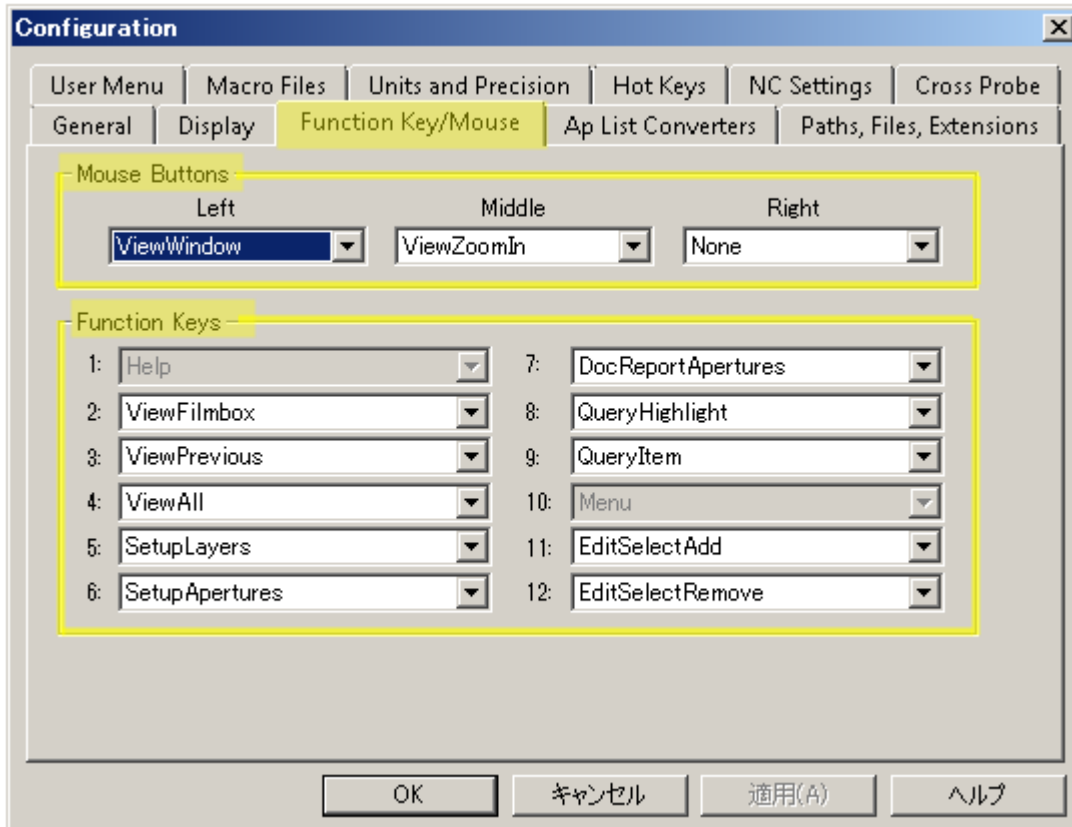
## ホットキー



# マウスボタンとファンクションキーへの機能割当て

Function keys/ mouse のタブを選択します。

「Mouse Bottins」 「Function Keys」 から機能を選択します。



マウスの右ボタンの機能を登録する場合は、HotKeysにあるポップアップメニューが無効になっていることを確認してください。

